



GMS制限モード

Zebraデバイスで利用できるGMSアプリ／サービスを全面的に管理

ZebraのGMS制限モードをご利用いただくと、Zebraデバイスで利用できるGoogle Mobile Services (GMS) アプリ／サービスを全面的に管理できるので、企業データの管理が向上し、セキュリティとプライバシーが強化されます。YouTube、Google Playなどで勤務中に集中が切れる可能性を排除し、その一方で従業員がFirebase Cloud MessagingまたはMapsを利用できるようにすることで、生産性を守ってください。業務に適したアプリが選択されるように、全面的に規制し、管理することは簡単です。

管理されたプロファイルで両者の最良の部分を提供

プライバシーの問題からGMSサービスの利用を禁止したいが、同時に、業務アプリケーションに関するオンデマンド通知を配信するために、GoogleのFirebase Cloud Messaging (FCM) は必要でしょうか？ GMS制限モードをご利用いただくと、業務に有用な特定のGMS用途を選択して、改めて有効にできます。GMS制限モードによる簡素化サービス管理リストからChrome、Maps、FCMをはじめ、必要なGMS機能を選択すればよいだけです。

メリット

企業データのセキュリティ／プライバシー強化

デバイス上のアプリとサービスを全面的に管理

現場の生産性保護

使いやすさ

ZebraのStageNowで、GMS制限モードを簡単に設定できます。数回クリックするだけで、すべてのGMSアプリ/サービスを完全に無効化できます。では、一部のGMSアプリを再び有効にするには、どうすればよいでしょう？ 簡単です。必要なアプリケーションが指定されている管理プロファイルを選択すればよいだけです。

設定後は放置

制限モードにしたデバイスは、デバイスの再起動、会社によるリセット、OSの更新が行われても、

制限モードのままです。OSの更新で新たに導入されたGMSアプリは、自動的に無効化されるので、Zebraモバイルデバイスのオペレーティングシステムを更新する際の懸念事項が1つ少なくなります。

必要なキーボードを選択

デバイスにGMS制限が適用されている間、GMSキーボードは無効ですが、Zebraのエンタープライズキーボードを含め、代替のキーボードを使用できます。

GMS制限プロファイル

GMS制限モードの詳細については、Zebraの記事をご覧ください。今後追加されるプロファイルについては、ZebraのTech Notesをご覧ください。

プロファイル名	特長
Chrome	Chromeブラウザを有効にします。
Maps	Google Mapsアプリケーションの有効化：位置情報モードを有効にし、位置情報の精度をデバイスで利用可能な最上位のモードに設定します。
Firebase Cloud Messaging	アプリケーションにFirebaseクラウドメッセージを受信させます (https://firebase.google.com/docs/cloud-messaging/)。この機能は、Dozeモードのときに、デバイスに非同期メッセージをプッシュしたり、バックグラウンドで操作を実行したりする場合に特に便利です。

**GMS制限モード—業務に適したGMSアプリ/サービスが
選択されるように全面的に管理します。詳細については、
www.zebra.com/gmsrestrictedをご覧ください**



ゼブラ・テクノロジーズ・ジャパン株式会社
〒100-0011 東京都千代田区内幸町 1-5-2 内幸町平和ビル 14F
TEL 0066-33-821700 (フリーダイヤル) FAX 03-3580-8301

Zebra Technologies Asia Pacific Pte. Ltd.
182 Cecil St. #08-01 Fraser Tower, Singapore 069547
TEL +65-6858-0722 FAX +65-6885-0838